

第22回 EMDR Part 1 トレーニングへのお誘い

盛夏の頃、みなさまにはご清祥のこととお慶びもうしあげます。

虐待、犯罪被害、DV とトラウマからの回復は今心理療法の最も関心の高い分野の一つと言えるでしょう。EMDR（眼球運動による脱感作と再処理法）は外傷的な記憶を短期間で処理できる画期的な方法で、世界中の国・地域・団体が発表している PTSD に対する治療ガイドラインに効果の証明された実証的な方法の1つとして推奨されています。2007年に発刊された学術雑誌 Journal of EMDR Practice & Research は、現在 Psychlit にも収録されており、昨年日本でも EMDR 研究が発刊され、学会活動も充実してきています。EMDR の日本における第22回目のトレーニングを、創始者 F・シャピロ博士が主宰するカリフォルニアの EMDR 研究所の協力のもと、開催いたします。

講師は同研究所のシニア・トレーナーであり、兵庫教育大学発達心理臨床研究センタートラウマ回復支援研究分野教授の市井雅哉が勤めます。急性、慢性の PTSD、恐怖症、ストレス、不安障害、うつ病の査定と治療を得意とする約22年の臨床歴を持つ臨床心理士です。現在、日本 EMDR 学会理事長、日本行動療法学会理事、日本心理臨床学会理事、EMDRIA 編集委員を務めています。これまでに EMDR に関して日本 EMDR 学会、日本外来精神医学会、日本カウンセリング学会、日本健康心理学会、日本行動療法学会、日本催眠学会、日本児童青年精神医学会、日本心身医学会、日本心理臨床学会、日本トラウマティックストレス学会、日本認知療法学会、日本バイオフィードバック学会、日本ブリーフサイコセラピー学会、日本臨床催眠学会、韓国 EMDR 協会、アジア EMDR 学会、WCBCT（世界行動療法認知療法会議）で、招待講演講師、ワークショップ講師、シンポジスト等を務めてきました。

この Part 1 トレーニングの3日間全てのセッションに参加なさった方は、カリフォルニアの EMDR 研究所に登録されます。また、日本 EMDR 学会の参加証が発行されます。日本 EMDR 学会と EMDRIA への入会資格も得られます*。

日 程：2010年10月1日（金）、2日（土）、3日（日）の3日間

金曜日 9:00 受付 9:30 開始 17:00 終了（昼食休憩 75分、昼食は各自）

土、日曜日 9:00 開始 17:00 終了（昼食休憩 75分、昼食は各自）

参加資格：下記参加資格をご覧ください。

定 員：72名程度（資格を満たされた方の先着順に受け付けます）

参加費：50,000円（トレーニングマニュアル代を含む）宿泊代金は含みません。宿泊の手配は各自で願います。

受付：2010年8月9日（月）～2010年9月10日（金）<但し、定員に達した時点で締め切ります。>

会場：全国身体障害者総合福祉センター 戸山サンライズ

〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1

Tel 03-3204-3611 Fax 03-3232-3621

●参加資格・・・日本 EMDR 学会（旧 EMDR-Network JAPAN）が定めた参加資格

医師・・・免許取得後、精神科・心療内科・小児科などの領域で2年以上の臨床経験を有する方。

心理職・・・臨床心理士資格取得者。

●EMDR（眼球運動による脱感作と再処理法）は、フランシーン・シャピロ博士が1989年に発表した外傷的な記憶を処理できる心理療法です。APA（アメリカ心理学会、精神医学会）、ISTSS（国際トラウマティックストレス学会）、英国保健省、イスラエル政府、仏政府、豪政府もPTSD（心的外傷後ストレス障害）の治療ガイドラインにEMDRを載せています。最近では、適用範囲は、不安、うつといった精神疾患から疼痛といった身体疾患までより広がっています。眼球運動（または、他の両側性の刺激）が、脳の適応的情報処理機能を刺激することで外傷的な記憶の再処理を引き起こすと考えられています。シャピロ博士はカリフォルニア州パロアルトにあるMRI (Mental Research Institute)の主任研究員、EMDR研究所の所長、人道支援のNPO組織EMDR-HAPの代表、The American Academy of Experts in Traumatic Stressの理事、Traumatologyの編集委員を勤めています。30以上のEMDR関連の著作があり、世界中でトレーニングを行ってきました。

●研修は大きく、講義と実習に分かれています。講義は市井雅哉による一斉講義ですが、実習では参加者は2～4人一組で役割を交代しながら実習をします。9人程度に1人の割合でファシリテーターが付き、実習をスーパーバイズします。この体制は、実習場面での急速な心理的变化に適切に対応するためのものです。Part 1 トレーニングの修了で単回のPTSDや単一恐怖などに対応でき、Part 2 トレーニングまで修了すると複雑性PTSD、社会恐怖や人格障害などにも柔軟に対応できるようになります。Part 2 トレーニングの受講は規定により、Part 1 修了後、一定期間の臨床実践（3ヶ月以上）を経てからが望ましいとされています。次回のpart 2 トレーニングは2011年夏（2010.8月5-7日）に東京にて開催予定です。

●ファシリテーター：大澤智子（兵庫県こころのケアセンター）、太田茂行（生活心理相談室ナメーク室長）、近藤千加子（心理相談室こころ）、白川美也子（昭和大学医学部）、竹内伸（さきおいこどもこころのクリニック）、仁木啓介（ニキ・ハーティー・ホスピタル）、福井義一（東海学院大学）、本多正道（本多クリニック）らが実習をスーパーバイズします。

●申し込み方法：同封申し込み書（HPでも入手可能）に所定事項をすべてご記入の上、返信用封筒としてご自分の住所、お名前を記入なさった定形最大封筒（三つ折りのA4用紙が入るサイズ）に80円切手を貼って同封し、ご送付ください。2010年9月10日の消印有効とさせていただきます。資格審査の後、受講いただける方には会場の地図、入金方法を返送しますので、その指示に従い、参加費をお払いください。入金を確認した時点で、予約参加者証をお送りいたしますので、当日会場にお持ちください。1週間以上入金が遅れるとキャンセル扱いとなることもあります。

●申し込み・問合わせ先（会場への直接のお問合わせはご容赦ください）：

主催：日本EMDR学会*

事務局：〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1 兵庫教育大学 発達心理臨床研究センター 市井研究室

TEL & Fax: 0795-44-2278 e-mail: info@emdr.jp URL: <http://www.emdr.jp>

*日本EMDR学会はEMDRIA（国際EMDR協会）から日本でのEMDRに関する研修認定、資格認定を行う組織として認定されました（2004.2.26）。

余裕があれば、下記の書物を前もってお読み下さい。必須ではありません。会場で割引販売する予定です。

推薦図書：EMDR：外傷記憶を処理する心理療法 フランシーン・シャピロ著 市井雅哉監訳 二瓶社

EMDR トレーニング (Part 1 東京 2010.10. 1-3) 参加申込用紙

(すべての項目は楷書で、英文表記はブロック体でもれなく記入して下さい)

①氏名		
②①の英文表記		
③主たる所属機関名・ 部門・役職名		
④③の英文表記		
⑤資格(免許)・登録 番号および資格発行 機関・団体名		
⑥⑤の英文表記		
⑦住所(勤務先)	〒	フリガナ
	電話	Fax
	E-mail	
⑧住所(自宅)	〒	フリガナ
	電話	Fax
	E-mail	
⑨連絡先の希望	勤務先・自宅 (○をつけて下さい)	
⑩最終学歴(学部・専攻 を明記のこと)		
⑪心理・精神科 臨床経験年数	年	⑫主たる心理・ 精神科臨床の機関名
⑬指導者・推薦者名*	(精神科医・臨床心理士・その他)	
⑭所属学会名 ⑮(その英文表記)		

年 月 日申し込み 署名:

*注:必ずしも、EMDR 研修修了者である必要はありません。また、推薦者の署名が必要なわけではありません。